

施策番号	0901		
施策名	観光スタイルの質の向上		
概要	日常生活に息づく京都の魅力を体感いただくために宿泊施設の充実を図るとともに、環境にやさしい歩く観光のための環境整備，ほんものとふれあう観光のためのくらし・ものづくり体験の取組を推進する。		
担当局・部室	産業観光局・観光MICE推進室	共管局・部室	
上位政策	9 観光		
施策に関する 主な分野別計画等	京都観光振興計画 2020，京都観光振興計画 2020+1		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	延べ宿泊数（万人泊）	-	-	-	2,125	-	-	-	
2	マイカー入洛率（%）	a	a	8.6	9.0	8.6	95.3%	b	1.00
3	伝統文化に満足することができた観光客の割合（%）	b	a	44.6	45.1	44.6	101.1%	a	1.00
4	市内での自家用車の利用観光客の割合（%）	a	a	8.7	8.3	8.7	104.6%	a	1.00
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		a	a					a	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	じっくり滞在し，ほんものとふれあい，歩いて楽しむ観光客が増えている。	b	b	107	240	180	84	64	675	-
				15.9%	35.6%	26.7%	12.4%	9.5%		
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		b	b							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	B	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	☐ 客観指標	観光客だけでなく市民にとっても満足度の高い観光振興を図ることを目的としており、市民生活実感評価を重視して評価することが妥当であると考えため				
	☒ 市民の実感					

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1	「食の京都」推進事業	0	23,663	－	産業観光局
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・観光地の魅力を掘り起し、丁寧な発信を行うとともに、宿泊観光の推進等による滞在期間の長期化、市内周辺地域への観光客の分散化による満足度の向上、人と公共交通を優先する歩いて楽しいまちづくりを進める。

施策名	0901	観光スタイルの質の向上				
指標名	延べ宿泊数（万人泊）					
担当課	観光MICE推進室		連絡先	7 4 6－2 2 5 5		
1 指標の説明						
入洛観光客の延べ宿泊日数						
2 指標の意味						
京都観光の「質の向上」に資する滞在・宿泊型観光の推進状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
京都観光の「質の向上」に資する滞在・宿泊型観光の推進状況を示す指標			算出方法：宿泊税データを活用し算出。出典：京都観光総合調査			
4 数値						
	前回数値 平成30年	最新数値 令和元年	推移	数値	目標値 根拠	達成度
数値	-	2,125	-	-	前年からの改善	-
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-			-		
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高く、景気動向にも影響を受けるものの、目標を上回することは不可能ではないため、100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		平成30 令和元 令和2	
					- - -	

指標名	マイカー入洛率（%）					
担当課	観光MICE推進室		連絡先	7 4 6－2 2 5 5		
1 指標の説明						
自家用車で入洛した観光客の割合						
2 指標の意味						
京都観光の「質の向上」に資する環境にやさしい歩く観光の推進状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
京都観光の「質の向上」に資する環境にやさしい歩く観光の推進状況を示す指標			算出方法：マイカー入洛観光客割合 出典：京都観光総合調査			
4 数値						
	前回数値 平成30年	最新数値 令和元年	推移	数値	目標値 根拠	達成度
数値	8.6	9.0	0.4ポイント増	8.6	前年からの改善。ただし、「京プラン実施計画 第2ステージ」に掲げる目標値（8%台=8.9%）を超えないものとする。	95.3%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	8%台	令和2年度	98.9%	京プラン実施計画 第2ステージ	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高く、景気動向にも影響を受けるものの、目標を上回することは不可能ではないため、100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		平成30 令和元 令和2	
					a a b	

施策名	0901	観光スタイルの質の向上				
-----	------	-------------	--	--	--	--

指標名	伝統文化に満足することができた観光客の割合（％）					
-----	--------------------------	--	--	--	--	--

担当課	観光MICE推進室	連絡先	7 4 6 － 2 2 5 5			
-----	-----------	-----	-----------------	--	--	--

1 指標の説明

京都観光総合調査における個別満足度（日本人・外国人）の「伝統文化」の項目に7段階中7の評価「大変満足」と回答した観光客の割合

2 指標の意味

京都観光の「質の向上」に資する伝統文化とふれあう観光の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都観光総合調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年	令和元年		数値	根拠	達成度
数値	44.6	45.1	0.5ポイント増	44.6	前年からの改善	101.1%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-			-	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高く、景気動向にも影響を受けるものの、目標を上回ることとは不可能ではないため、100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
b	a	a

1 指標の説明

京都観光総合調査における市内での利用交通機関を調査する項目に「自家用車」と回答した観光客の割合

2 指標の意味

京都観光の「質の向上」に資する環境にやさしい歩く観光の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：市内での自家用車利用割合
出典：京都観光総合調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年	令和元年		数値	根拠	達成度
数値	8.7	8.3	0.4ポイント減	8.7	前年からの改善	104.6%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-			-	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高く、景気動向にも影響を受けるものの、目標を上回ることとは不可能ではないため、100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
a	a	a